

これで だいじょうぶ!

中2英語の 動名詞と不定詞

別冊

答えと解説



動名詞とは?

スパ
1

動詞の ~ing 形は「~すること」の意味!

P2・3

- ① 1. reading 2. playing 3. playing 4. playing

解説 動詞の ~ing 形は現在進行形や過去進行形に be 動詞と使われるが、ここで扱う ~ing 形はそれらとは別のものである。「~すること」の意味で、動詞と名詞の両方の働きをするものになる。~ing 形の作り方は「知って得するコーナー」を参照しよう。

- ② 1. サッカーをすることが[するのが]
2. サッカーをすることが[するのが]
3. 彼の本を読むことが[読むのが]
4. 新聞を読むことが[読むのが]
5. 友だちと話すことが[話すのが]

解説 1.・2. soccer は動名詞 playing の目的語。このように、動名詞が目的語をとることもある。2. 主語が3人称・単数でも動名詞の形に変わりはない。3.・4. 否定文でも動名詞の形に変わりはない。5. 疑問文でも動名詞の形に変わりはない。

- ③ 1. I like reading your letters.
2. I don't like playing baseball.
3. He doesn't like reading novels.
4. Does she like talking with you?

解説 1. your letters が reading の目的語。2. baseball が playing の目的語。3. novels が reading の目的語。4. talking with you が like の目的語。

知って得するコーナー

動詞の～ing の作り方

・ふつうはing だけをつける：

play (くスポーツを)する, (楽器を)ひく → playing
 read (読む) → reading look (見る) → looking
 talk (話す) → talking study (勉強する) → studying
 watch (見る) → watching cook (料理する) → cooking

・語尾がe のときはe をとってing をつける

write (書く) → writing make (作る) → making
 use (使う) → using have (食べる) → having
 take (取る) → taking give (与える) → giving
 drive (運転する) → driving

・語尾が<短母音+子音字>のときは子音字を重ねる

swim (泳ぐ) → swimming sit (座る) → sitting
 run (走る) → running get (入手する) → getting
 put (置く) → putting stop (止まる) → stopping
 cut (切る) → cutting begin (始まる) → beginning

・語尾がie のときはie をy にかえてing をつける

lie (横になる) → lying die (死ぬ) → dying

動詞の目的語になる動名詞

スバ
2

よく使われる<動詞+動名詞>

P4・5

① 1. playing 2. working 3. raining 4. playing

解説 1. enjoy ～ing で「～して楽しむ」。2. start ～ing で「～し始める」。3. begin ～ing で「～し始める」。4. practice ～ing

で「～する練習をする」。

② 1. talking 2. snowing 3. studying 4. playing

解説 2. snow は動詞では「雪が降る」、名詞では「雪」の意味。4. この文の play は「(楽器を)ひく」の意味。

③ 1. I enjoyed watching the game on TV.
 2. When did you begin working here?
 3. Tom practices writing *kanji* every day.
 4. I started learning the piano last year.

解説 動詞の目的語になるときに、動詞の過去形を使うことも多いので規則動詞・不規則動詞にも注意しておこう。

主語になる動名詞

スバ
3

文頭の～ing 形は主語になるんだ！

P6・7

① 1. Reading 2. Reading 3. Swimming 4. Learning

解説 2. Reading a lot of books の複数形につられて Reading a lot of books are ... としない。3. swim はm を重ねて swimming。

② 1. Studying 2. Swimming 3. Using 4. Running

解説 1. Studying hard が主語。2. Swimming on a hot day が主語。3. use はe をとって using。Using this computer が主語。4. run はn を重ねて running。Running が主語。

③ 1. Reading this book is not difficult.
 2. Driving a car is dangerous here.

3. Writing letters in English isn't easy.

4. Taking pictures is a lot of fun.

解説 1. Reading this book が主語の否定文。2. Driving a car が主語。drive は e をとって driving。3. Writing letters in English が主語。この文の in は「～で」の意味。write は e をとって writing。4. Taking pictures が主語。take は e をとって taking。

補語になる動名詞

スバ
4

補語になる動名詞をマスターしよう。

P8・9

① 1. taking 2. playing 3. swimming 4. eating

解説 補語というのは be 動詞などのあとにきて、主語を説明する働きをするもの。進行形でも be 動詞のあとに～ing 形がくるが、be 動詞の前後の語句の意味から動名詞かどうか判断できる。
1. take は e をとって taking。3. swim は m を重ねて swimming。

② 1. collecting 2. writing 3. running 4. sleeping

解説 is はイコールの働きをしている。My hobby = collecting stamps。

③ 1. Her job is teaching English.
2. My hobby is listening to music.
3. My favorite thing is singing together.
4. My bad habit is getting up late.

解説 1. teaching English が補語。2. listening to music が補語。
3. singing together が補語。4. getting up late が補語。

これは動名詞？

スバ
5

動名詞か進行形かは意味を考えよう！

P10・11

① 1. is 2. am listening 3. is 4. are playing

解説 1. listening は動名詞。主語が 3 人称単数で be 動詞は is。2. 現在進行形の文。主語が I で be 動詞は am。3. playing は動名詞。4. 現在進行形の文。主語が We で be 動詞は are。

② 1. ① 趣味は写真を撮ること ② 公園で写真を撮っています
2. ① 仕事はフランス語を教えること
② 大学でフランス語を教えています
3. ① 悪い癖は食べすぎることに
② 今サンドイッチを食べています

解説 ～ing 形は①が動名詞で補語になっている。②は現在進行形。

③ 1. My hobbies are skiing and skating.
2. Is your hobby listening to music?
3. My job is not collecting letters.
4. My favorite thing is reading.

解説 1. 補語に 2 つ動名詞がくる形になる。主語が hobbies で複数なので be 動詞は are。ski は ing をつけて skiing, skate は e をとって skating になる。2. Your hobby is listening to music. を疑問文にしたもの。3. My job is collecting letters. を否定文にしたもの。4. reading だけで「読書、本を読むこと」の意味を表す。

スバ
6

動詞の ~ing 形は名詞と同じ働き！

P12・13

- ① 1. listening 2. raining 3. Singing 4. taking

解説 1. enjoy ~ing で「～して楽しむ」。2. stop ~ing で「～するのをやめる」。3. 動名詞が主語。4. 動名詞が補語。

- ② 1. あなたはその絵を描き終えましたか。
2. ジェーンは昨年フランス語を学び始めました。
3. 何時に雪は降りやみましたか。
4. 興奮させる試合を見ることは楽しい。
5. あなたはいつその手紙を書き終えましたか。
6. 私の仕事はコンピュータを修理することです。

解説 1. ・5. finish ~ing で「～し終える」。「(絵を)描く」には write は使わない。draw は線画を描くときに使う。絵の具を使うときは paint [peint] という語を使う。2. start ~ing で「～し始める」(←～することを始める)。3. stop ~ing を What time で始まる過去の疑問文に使ったもの。6. 動名詞が補語。

- ③ 1. Reading this book is not [isn't] easy.
2. Did you enjoy talking with Ken yesterday?
3. My hobby is collecting foreign stamps.
4. It stopped raining this morning.

解説 1. 動名詞が主語。2. enjoy ~ing を過去の疑問文に使ったもの。3. 補語に動名詞を使う文。集めるのは1枚の切手ではないので、stamps と複数形。4. raining は stopped の目的語。

スバ
7

〈to+動詞の原形〉も「～すること」だよ。

P14・15

- ① 1. to 2. play 3. to talk 4. to talk

解説 〈to+動詞の原形〉の不定詞が名詞の働きをして動詞の目的語になる用法である。ここでは like to ~ で「～することが好きだ」の言い方を学ぶ。like は動名詞を目的語にすることもできる。一般的に「～するのが好きだ」には動名詞を使うことが多い。不定詞の like to ~ は「(今)～するのが好きだ」(場合によっては「～したい」の意味にもなる)の意味に使うことが多い。

- ② 1. to read 2. likes, cook 3. like to 4. to study

解説 1. to は動詞の原形 read の前。2. 主語が3人称・単数なので、文の動詞 like には s がつく。不定詞の to のあとには動詞の原形が続く。3. 否定文でも〈to+動詞の原形〉の形はかわらない。4. 疑問文でも〈to+動詞の原形〉。

- ③ 1. I like to read your letters.
2. Emi likes to stay with you.
3. I don't like to eat vegetables.
4. Does she like to watch TV?

解説 1. to read your letters が like の目的語。2. to stay with you が likes の目的語。3. to eat vegetables が like の目的語。4. to watch TV が like の目的語。

スパ
8

want to ~の表現をマスターしよう。

P16・17

1. want to 2. to 3. to 4. be

解説 want to ~で「～したい」(←～することをほつする)の意味になる。この表現では「～になりたい」と言うとき、want to be ~とする。I want to be ~は I am ~に want を使って I want to be ~になると考えればわかりやすい。

2. 1. want, be 2. wants, be 3. want to 4. want to

解説 2. 主語が3人称・単数なので wants を使う。(to+動詞の原形)の形に変化はない。3. want to ~の否定文。4. want to ~の過去の疑問文。

3. 1. I want to be a pilot in the future.
2. I don't want to be a man like you.
3. He wants to go to the park.
4. Did you want to sing this song?

解説 1. want to be ~の文には in the future(将来)がよく使われるので覚えておこう。2. この文の like は「～のような」の意味の前置詞で、動詞の like(好きだ)とは別のもの。4. want to ~を過去の疑問文に使ったもの。

知って得するコーナー

・ want to be ~ ~には職業を表す語がくることが多い。
doctor (医者) nurse (看護師) teacher (教師)
scientist (科学者) artist (芸術家) musician (音楽家)

cook (コック) police officer (警官) fire fighter (消防士)
farmer (農場経営者) fisherman (漁師)

スパ
9

To ~は主語にもなるのだ!

P18・19

1. To 2. eat 3. To 4. dance

解説 不定詞は文の主語として使われることもある。このとき注意しなければいけないのは、不定詞は単数扱いにすること。不定詞に使われた動詞が複数形の名詞を目的語としてもなっている場合でも単数扱いにする。To read many books are ... (is が正しい)

2. 1. To learn 2. To see 3. To live 4. To know

解説 1. To learn English が主語。不定詞は3人称・単数扱いにするので、動詞に takes と s がつく。この文の take の意味にも注意。
2. To see you が主語で、you が主語ではない。3. To live in this town が主語。4. To know yourself が主語。

3. 1. To play the game is a lot of fun.
2. To stay home isn't good for you.
3. To swim in this river is dangerous.
4. To be kind to all isn't easy.

解説 To ~が主語になるので、To はすべて文頭に補う。また、～の部分には動詞の原形がくる。1. To play the game が主語。2. To stay home が主語。3. To swim in this river が主語。4. To be kind to all が主語。be 動詞の原形は be。

スバ
10

be 動詞のあとの to ～は補語にもなるよ。

P20・21

1. to 2. play 3. to 4. do

解説 不定詞が be 動詞のあとに続いて補語になり、主語を説明する形になる。一般に、不定詞を be 動詞のあとに続けて補語にするときは、未来に関することを述べるときに使うことが多い。1では教師になることはこれからの未来のこと。4. nothing を do の目的語に使って「何も～ない」という言い方にも慣れておこう。

- 2 1. to be 2. to drive 3. to go 4. to come

解説 1. to be an astronaut が補語。 2. to drive a bus が補語。
3. to go with you が補語。 4. to come here が補語。

- 3 1. Is your dream to be a scientist?
2. My job isn't to dance on the stage.
3. My hope is to meet the person soon.
4. The best way is to say nothing.

解説 いずれも to は動詞(の原形)の前に補う。 1. to be a scientist が補語。 2. to dance on the stage が補語。 3. to meet the person soon が補語。 4. to say nothing が補語。

【まとめ】名詞的用法

スバ
11

不定詞のいろいろな使い方！

P22・23

- 1 1. to help 2. to dance 3. To eat 4. to be

解説 1. to help the woman が want の目的語。 2. to dance with

the man が hope の目的語。 3. To eat too much が主語。 4. to be a doctor が補語。

- 2 1. 私はほかの人たち(他人)について話すのは好きではありません。
2. あなたはきょう夕食を料理したい(作りたい)ですか。
3. 何時に激しく雨が降り始めましたか。
4. 私はあなたのような人と結婚することを希望します(結婚できればいいと思います)。
5. 私の夢は大きな都市に住むことです。
6. 友だちと(いっしょに)テニスをするのは楽しい。

解説 1. like to ～(～するのが好きだ)を否定文に使ったもの。
2. want to ～(～したい)を疑問文に使ったもの。 3. begin to ～(～し始める)を What time で始まる疑問文に使ったもの。
hard は「激しく」の意味にも使う。 4. hope to ～(～することを希望する)の文。 like は「～のような」の意味の前置詞。 5. to live in a big city は補語になっている。 6. To play tennis with friends が主語になっている。

- 3 1. I don't[do not] want to stay[be] here with you.
2. I didn't need to come here yesterday.
3. My job is to fix computers.
4. To master English isn't[is not] easy.

解説 1. want to ～を否定文に使ったもの。 be 動詞には「いる、ある」の意味もあるので、stay のかわりに be でもよい。 2. need to ～(～する必要がある)を過去の否定文に使ったもの。 3. to fix computers が補語。 4. To master English が主語。

スパ
12

「～するために」を表す<to+動詞の原形>

P24・25

- ① 1. to 2. buy 3. to 4. watch

解説 目的を表して「～するために、～しに」の意味で動詞とつながる不定詞の用法が、目的を表す副詞的用法。1. to see you は came につながる。2. to buy eggs は went につながる。3. to be a teacher は study につながる。4. to watch TV は came につながる。

- ② 1. 野球をするために〔しに〕 2. 私と話すために〔話しに〕
3. 美術を勉強するために〔しに〕
4. 電子メールを送るために〔送るのに〕 5. (その)試合に勝つために

解説 それぞれの不定詞は目的を表して文の動詞につながっている。

- ③ 1. I went to the library to borrow a book.
2. Jane came to Japan to study history.
3. I bought a fish to make *sushi*.
4. Get up early to finish the work.

解説 1. 「借りに」→「行った」の関係。2. 「勉強しに」→「来た」。
3. 「作るために」→「買った」。4. 「終えるために」→「起きる」。

スパ
13

「なぜ？」への答えにも不定詞が使える！

P26・27

- ① 1. Why / To 2. Why / To

解説 1. Why のあとに過去の一般動詞の疑問文の語順が続ける。

/ To は動詞の原形の前。2. do one's(所有格) homework で「宿題をする」の意味。

- ② 1. Why do / To take 2. Why did / To talk

解説 1. You go to the lake to ~. の下線部をたずねる疑問文。 / 「写真を撮る」は take a picture[pictures]。2. You came here to ~. の下線部をたずねる疑問文。 / 「～と話す」は talk with ~。

- ③ 1. Why do you study so hard?
To be a good doctor.
2. Why did you run to the station?
To take the first train.

解説 1. 「そんなに」は so。 / be は be 動詞の原形で、To のあとに続ける。2. run to ~で「～へ走って行く」の意味になる。 / take が動詞の原形。これを To のあとに続ける。

スパ
14

感情を表す形容詞につながる不定詞！

P28・29

- ① 1. happy 2. sad 3. surprised 4. sorry

解説 原因・理由を表す副詞的用法の不定詞は「～して」の意味で、おもに感情を表す形容詞とつながる。感情を表す形容詞には happy, glad, sad, surprised, sorry などがある。1. 「見て」→「うれしかった」 2. 「見て」→「悲しかった」 3. 「見て」→「驚いた」 4. 「見て」→「残念だった」

- ② 1. sad to 2. surprised to 3. happy to 4. sorry to

解説 1. 「悲しい」は sad. 2. 「驚いた」は surprised. 3. 「うれしい」は happy. 4. 「残念な」は sorry.

- 3 1. I'm very glad to see you again.
2. Are you happy to be with me?
3. Why were you surprised to hear that?
4. He was not sad to hear that.

解説 1. glad は happy とほぼ同じ意味に使う。2. be happy to ~ を疑問文に使ったもの。3. be surprised to ~ を Why で始まる疑問文に使ったもの。Why のあとは疑問文の語順になる。4. be sad to ~ を否定文に使ったもの。

【まとめ】副詞的用法

スパル 15 動詞や形容詞につながれば副詞的用法!

P30・31

- 1 1. to see 2. to see 3. to hear 4. to hear

解説 1. 目的を表す副詞的用法。2. 原因・理由を表す副詞的用法。
3. 目的を表す副詞的用法。4. 原因・理由を表す副詞的用法。

- 2 1. 私は科学者になるために一生けんめい勉強します(しています)。
2. 私はあなたと(いっしょに)ここにいて(いられて)うれしいです。
3. あなたは私と話すためにここにいるのですか。
4. 私は彼女と話せてとてもうれしかった(幸せでした)。
5. あなたは彼らを驚かせるためにそこへ行ったのですか。
6. 私はその秘密を知って驚きました。

解説 1. ・3. ・5. 目的を表す副詞的用法。2. ・4. ・6. 原因・理由を表す副詞的用法。5. ・6. surprise は一般動詞で「驚かせる」

の意味で、be surprised で「驚く」の意味。

- 3 1. I came here to ask some questions.
2. I was happy [glad] to get the new information.
3. I got up early to do my homework.
4. I was sorry to hear his answer.

解説 1. 目的を表す副詞的用法。「質問するために」→「来た」
2. 原因・理由を表す副詞的用法。「入手して」→「うれしい」
3. 目的を表す副詞的用法。「するために」→「起きた」
4. 原因・理由を表す副詞的用法。「聞いて」→「残念だ」

形容詞的用法の不定詞①

スパル 16 「~するための」「~すべき」の用法もあるよ。

P32・33

- 1 1. to do 2. to read 3. to write 4. to do

解説 直前の名詞につながる不定詞を形容詞的用法の不定詞という。

1. 不定詞は some work につながる。2. time につながる。
3. letters につながる。4. homework につながる。

- 2 1. to read 2. to play 3. to finish 4. to help

解説 1. 「読む(ための)」→「本」 2. 「遊ぶ(ための)」→「時間」
3. 「終えるべき」→「仕事」 4. 「助けてくれる(べき、ための)」
→「友人」

- 3 1. That's the best way to learn English.
2. I bought a book to read during my trip.
3. I have no money to buy a car.

4. Is this the space to write my name?

- 解説 1. 「学ぶための」→「方法」 2. 「読むための」→「本」
3. 「買う(ための)」→「お金」 4. 「書くための」→「余白」

知って得するコーナー

・不定詞に使われる動詞がもともと前置詞をとまなっているときは、前置詞を不定詞のあとに置く。

I have no CDs to listen to. (listen to ~ 「～を聞く」)

(私には聞くべき CD がありません)

I have no house to live in. (live in ~ 「～に住む」)

(私には住む家がありません)

形容詞的用法の不定詞②

スラッシュ
17

-thing につながる to ~ は形容詞的用法!

P34・35

- ① 1. to do 2. to drink 3. to eat 4. to do

解説 thing は「こと、もの」の意味。something は肯定文で「何か」、anything は疑問文で「何か」、否定文で「何も(～ない)」、nothing は「何も～ない」の意味であることを確認しておこう。形容詞的用法の不定詞は、これらの(-)thing のあとにくる。

- ② 1. nothing to 2. something to 3. anything to
4. anything to

解説 1. 「何も～ない」は nothing。2. 肯定文で「何か」は something。
3. 否定文で「何も(～ない)」は anything。4. 疑問文で「何か」は anything。(Would you like something to drink? 「何か飲みものはいかがですか。') のように勧めたり、Yes の答えを期待するときは

something を使う)

- ③ 1. I need something to wear to the party.
2. I have nothing to eat for lunch.
3. I have a lot of things to buy here.
4. Do you have anything to do today?

解説 1. 「着るための」→「何か」 2. 「食べるための」→「何もないもの」 3. 「買う(べき)」→「たくさんのももの」 4. 「すべき」→「何か」

知って得するコーナー

・「何か冷たい飲み物」のように、-thing に形容詞がつく場合は〈thing + 形容詞 + to ~〉の語順になる。

I want something cold [hot] to drink.

(私は何か冷たい[熱い]飲み物がほしい)

【まとめ】形容詞的用法

スラッシュ
18

名詞や(-)thing につながる to ~ は形容詞的用法!

P36・37

- ① 1. to read 2. to play 3. to drink 4. to do

解説 1. to read は(a) book につながる。2. to play は time につながる。3. to drink は anything につながる。4. to do は nothing につながる。

- ② 1. あなたは昼食に何か食べるものを持っていますか。
2. 私にはあなたと話す時間がほんの少ししかありません。
3. 私はここで何か読むものを買いたい。

4. 私はそれについてすること〔すべきこと〕は何もありません。
5. 彼は今食べるものも飲むものも持っていません。
6. 私にはきょう終えるべき宿題がたくさんあります。

解説 1. anything が疑問文中に使われていることに注意。2. 「話す」→「時間」と名詞につながる。3. 肯定文の something は「何か」。

4. 否定文の anything は「何も(～ない)」。

5. drink の前の to が省略されている。to eat, (to) drink ともに nothing につながる。

6. 「終えるべき」→「宿題」と名詞につながる。

- 3 1. I have two books to read this week.
2. I have [I've] nothing to do this afternoon.
3. Do you have anything to read now?
4. I don't [do not] have anything to buy in this store.

解説 1. to read が (two) books につながる。2. to do (this afternoon) が nothing につながる。3. to read が anything につながる。4. anything を使う指定があるので、not ~ anything の否定文にする。to buy (in this store) が anything につながる。

これは不定詞？

スバ19 to のあとに名詞・代名詞があれば前置詞！

P38・39

- 1 1. to 2. to 3. to 4. to

解説 1. 「～へ、～に」の意味で方向や行き先を表す前置詞。2. 「～するために」の意味の、目的を表す副詞的用法の不定詞。3. 「～に(とって)」の意味で対象を表す前置詞。4. 「～して」の意味の、原因・理由を表す副詞的用法の不定詞。

- 2 1. B あなたは毎日歩いて学校へ行きます(徒歩通学です)か。

2. A あなたは犬を散歩させるのが好きですか。
3. B 彼はその本を(その)子どもたちに読んであげました。
4. A 彼には今週読むべき〔読まなければいけない〕本がたくさんあります。
5. B 英語は私たちに(とって)重要です。
6. A 毎日勉強することは重要です。

解説 1. 方向や行き先を表す前置詞。walk to ～で「～へ歩いて行く」。

2. 動詞の目的語になる名詞的用法の不定詞。3. 対象を表す前置詞。この文の read は過去形。4. 形容詞的用法の不定詞。

5. 対象を表す前置詞。6. 主語になる名詞的用法の不定詞。

- 3 1. Why did you come to my house?
2. He came here to borrow a book.
3. The game was exciting to us.
4. I was excited to see the game.

解説 1. 方向・行き先を表す前置詞の to を補う。2. 「～するために」の意味。目的を表す副詞的用法の不定詞を作る to を補う。3. 対象を表す前置詞の to を補う。exciting はふつう人以外が主語になる。4. 「～して」の意味。原因・理由を表す副詞的用法の不定詞を作る to を補う。excited はふつう人を主語にする。

不定詞の用法の見きわめ①

スバ20 名詞的用法か副詞的用法かの違いを確認！

P40・41

- 1 1. to help 2. to help 3. to play 4. to play

解説 1. to help ～は want の目的語→名詞的用法。2. to help ～

は came につながる→目的を表す副詞的用法。 3. to play ～は likes の目的語→名詞的用法。 4. to play ～は stayed につながる→目的を表す副詞的用法。

- 2 1. A 2. B 3. A
4. B 5. A 6. B

解説 1. like の目的語になる名詞的用法。 2. 目的を表す副詞的用法。
3. want の目的語になる名詞的用法。 4. 原因・理由を表す副詞的用法。 5. hope の目的語になる名詞的用法。 6. 目的を表す副詞的用法。

- 3 1. ウ 2. エ 3. ア 4. オ 5. イ

解説 1. 動詞の目的語になる名詞的用法。「私はきょうここにいたくありません」/ ウ「私はあなたといっしょにそこへ行くことを希望します」
2. 主語になる名詞的用法。「サッカーをすることはとても楽しい」/ エ「食べすぎはよくありません」 3. 補語になる名詞的用法。「私の夢は科学者になることです」/ ア「私の希望はステージで踊ることです」 4. 目的を表す副詞的用法。「私はマミに会いにここに来ました」/ オ「彼は雑誌を買いにそこへ行きました」 5. 原因・理由を表す副詞的用法。「私はその知らせを聞いて悲しかった」/ イ「あなたは彼女に会えてうれしかったですか」

不定詞の用法の見きわめ②

スパリ 21 名詞的用法か形容詞的用法かの違いを確認！

P42・43

- 1 1. To eat 2. to eat 3. to finish 4. to finish

解説 1. 主語になる名詞的用法。 2. 直前の代名詞 something を説

明する形容詞的用法。 3. 補語になる名詞的用法。 4. 直前の名詞 work を説明する形容詞的用法。

- 2 1. B 2. A 3. B
4. A 5. B 6. B

解説 1. 疑問文の anything は「何か」。 2. 名詞的用法(補語)。 3. nothing は「何も～ない」。 4. 名詞的用法(主語)。 5. 肯定文の something は「何か」。 6. 否定文の anything は「何も(～ない)」。

- 3 {I} 1. イ 2. エ 3. ア 4. ウ
{II} a 2, 3, 4 b 1

解説 1. 直前の代名詞を説明する形容詞的用法。「私は私を助けてくれる[手伝ってくれる]人がだれか必要です」/ イ「私にはきょう何もすることがありません」 2. 動詞の目的語になる名詞的用法。「私はあの人たちを助ける必要があります」/ エ「私は彼女と遊ぶのは好きではありません」 3. 補語になる名詞的用法。「私の希望はあなたといっしょにいることです」/ ア「私の仕事はピアノをひくことです」 4. 主語になる名詞的用法。「あなたと話すのはとても楽しい」/ ウ「上手に踊ることはそんなに簡単ではありません」

不定詞の用法の見きわめ③

スパリ 22

副詞的用法か形容詞的用法かの違いを確認！

P44・45

- 1 1. to do 2. to do 3. to see 4. to see

解説 1. 目的を表す副詞的用法。 2. nothing を説明する形容詞的用法。 3. 原因・理由を表す副詞的用法。 4. nothing を説明す

る形容詞の用法。

- 2 1. B 2. A 3. B
4. B 5. A 6. A

解説 1. time を説明する形容詞の用法。 2. 目的を表す副詞の用法。
3. things を説明する形容詞の用法。 4. way を説明する形容詞の
用法。 5. 目的を表す副詞の用法。 6. 原因・理由を表す副詞の用法。

- 3 (I) 1. ウ 2. イ 3. ア (II) a 2, 3 b 1

解説 1. 直前の代名詞を説明する形容詞の用法。「私にはあなたに言
うべきことは何もありません」/ ウ「私は昼食に食べるものが何
か必要です」 2. 原因・理由を表す副詞の用法。「彼はそれを
聞いて驚きましたか」/ イ「私はあなたにまた会えてとてもうれ
しい」 3. 目的を表す副詞の用法。「私はエミを手伝うためにそ
こへ行きました」/ ア「彼は医者になるために一生けんめい勉強
しました」

不定詞の用法の見きわめ④

スバリ 23 3種の用法の違いをしっかりと確認しよう!!

P46・47

- 1 1. to talk 2. to talk 3. to talk 4. to talk

解説 1. 動詞の目的語になる名詞的用法。 2. 目的を表す副詞的用法。
3. 原因・理由を表す副詞的用法。 4. time を説明する形容詞的
用法。

- 2 1. B 2. C 3. B
4. A 5. A 6. A

解説 1. 原因・理由を表す副詞的用法。 2. time を説明する形容詞
的用法。 3. 目的を表す副詞的用法。 4. 動詞の目的語になる
名詞的用法。 5. 補語になる名詞的用法。 6. 主語になる名詞
的用法。

- 3 1. ア 2. カ 3. ウ 4. エ 5. オ 6. イ

解説 1. 動詞の目的語になる名詞的用法。「私は魚を食べることが好き
ではありません」/ ア「私はこの市に住むことを希望します」
2. 直前の名詞を説明する形容詞的用法。「私にはきょう書くべき手
紙が何通かあります」/ カ「彼には彼を助けてくれる友だちが何人
かいます」 3. 補語になる名詞的用法。「私の希望は一日中ここ
にいます」/ ウ「最良の方法は何も言わないことです」
4. 目的を表す副詞的用法。「私たちはサッカーをするために公園へ
行きます」/ エ「私たちは本を買いにそこへ行きました」 5. 原因・
理由を表す副詞的用法。「私はここにあなたといられてうれしい」/
オ「私はそれを聞いてとても残念でした」 6. 主語になる名詞的
用法。「自分自身を知ることは大切です」/ イ「この川で泳ぐことは
危険です」

動名詞と不定詞の言いかえ①

スバリ 24 主語になる動名詞と不定詞の言いかえ。

P48・49

- 1 1. Reading / To read 2. Swimming / To swim

解説 1. Reading も To read も主語になっている。 2. Swimming
も To swim も「泳ぐこと」の意味。

- 2 1. To run 走ることはあなたの健康によい。

2. Studying 熱心に勉強することがあなたには重要です。

3. To live この町で暮らすのは簡単ではありません。

解説 いずれも文の主語として用いられている。

3 1. Playing the game is a lot of fun.

2. To know all is difficult.

3. Writing letters in English isn't [is not] easy.

解説 2. to を使う指定があるので、不定詞の文。 3. letters につられて aren't としないように注意。

動名詞と不定詞の言い換え②

スパリ 25 補語になる動名詞と不定詞の言い換え。

P50・51

1 playing / to play 2. taking / to take

解説 1. Her job = playing the violin, Her job = to play the violin の関係。 2. My favorite thing = taking pictures, My favorite thing = to take pictures の関係。

2 1. to write 彼の仕事は小説を書くことです。

2. singing 私の好きなことはいっしょに歌うことです。

3. to eat 私の悪い癖は食べすぎることです。

解説 いずれも文の補語として用いられている。

3 1. My hobby is driving (a car).

2. Is your dream to be a scientist?

3. Her job isn't [is not] teaching English.

解説 1. driving だけで「車を運転する」の意味を表すことがある。

動名詞と不定詞の言い換え③

スパリ 26

動名詞と不定詞の両方を目的語にとる動詞！

P52・53

1 1. a. to play b. playing 2. a. to rain b. raining

3. a. to learn b. learning 4. a. to open

解説 1. ~3. like, begin, start は動名詞と不定詞のどちらも目的語にとり、意味もほぼ同じ。 4. try to ~ は「~しようと(努力)する」。動名詞が目的語になると「試しに~する」の意味になる。
I tried opening the door. (私は試しにドアを開けてみました)

2 1. 私はあなたとテニスをするのが好きです。

2. あなたはいつピアノを習い始めましたか。

3. 1時間前に激しく雪が降り始めました。

4. 私はあなたと買い物に行くのが好きではありません。

5. 彼はドアを開けようとしたができませんでした、それでももう一度やってみました。

解説 1. 動名詞が動詞の目的語になっている。 2. ~5. 動詞の目的語になる名詞的用法の不定詞。

3 1. What time did you begin to practice baseball?

2. Did they start running at eight (o'clock)?

3. I don't like watching TV.

4. Tom tried to eat *natto*.

解説 4. 「~しようと(努力)する」は try to ~。

目的語は動名詞か不定詞か①

スバ
27

enjoy, finish, stop の目的語は動名詞だけ！

P54・55

- ① 1. playing 2. reading 3. raining

解説 enjoy, finish, stop の目的語に to ~ の不定詞を使うことはできない。動詞を続けるときは必ず動名詞(～ing)にする。

- ② 1. writing 2. running 3. watching

解説 1. 「～し終える」は finish ～ing。 2. 「～するのをやめる」は stop ～ing。 3. 「～して楽しむ」は enjoy ～ing。

- ③ 1. When did it stop snowing?
2. Did you enjoy swimming in the sea?
3. I finished cleaning my room.

解説 1. snowing は stop の目的語。 2. swimming は enjoy の目的語。 3. cleaning は finished の目的語。

目的語は動名詞か不定詞か？②

スバ
28

前置詞のあとは必ず動名詞、セットで覚えよう。

P56・57

- ① 1. going 2. swimming 3. calling 4. playing

解説 1. How about ～ing? で「～してはどうですか[～しませんか]」。 2. be good at ～ing で「～するのが得意[上手]だ」。swim は m を重ねて swimming。 3. Thank you for ～ing. で「～してくれてありがとう」。 4. be fond of ～ing で「～するのが好きだ」。

- ② 1. watching 2. running 3. inviting 4. taking

解説 1. 「テレビを見る」は watch TV。 2. run は n を重ねて running。 3. invite は e をとって inviting。 4. take は e をとって taking。

- ③ 1. I'm not good at speaking English.
2. Thank you for meeting me.
3. How about playing the game together?
4. Are you fond of reading?

解説 1. be good at ~ の否定文になる。 4. read だけで「本を読む、読書する」の意味を表すこともある。

目的語は動名詞か不定詞か③

スバ
29

want, hope, need の目的語は不定詞だけ！

P58・59

- ① 1. to go 2. to see 3. to stay 4. to close

解説 want, hope, need の目的語に動名詞(～ing)を使うことはできない。to ~ の不定詞を使う。forget は動名詞・不定詞のどちらも使うことができる。「(これから)～することを忘れる」の意味では forget to ~ と不定詞を使う。これについては「知って得するコーナー」を参照しよう。

- ② 1. to stay 2. to see 3. to come 4. to write

解説 いずれも不定詞を使う。不定詞の to のあとは必ず動詞の原形。

- ③ 1. I hope to know the truth.
2. You don't need to say anything.
3. Do you want to drive the car?
4. Don't forget to call me.

- 【解説】 1. hope to ～は「～することを希望する」の意味だが、「～したい」という日本語をあてることもある。2. 否定文中の anything は「何も(～ない)」の意味。3. want to ～を疑問文に使ったもの。4. forget to ～が否定の命令文に使われたもの。

知って得するコーナー

目的語が不定詞と動名詞で意味が異なるもの

- ・ try to ～ (～しようとする, ～しようと努める)

I tried to get up early. (私は早く起きようと<努力>しました)

- ・ try ～ing (<試しに>～してみる)

I tried getting up early. (私は<実際に>早く起きてみました)

- ・ forget to ～ (<これから>～することを忘れる)

Don't forget to write a letter to Emi.

(エミに手紙を書くのを忘れてはいけません[忘れずに書きなさい])

- ・ forget ～ing (<過去に>～したのを忘れる)

Don't forget writing a letter to Emi.

(エミに手紙を書いたのを忘れてはいけません)

【まとめ】動名詞と不定詞①

スパリ 30 動詞によって動名詞・不定詞を使い分ける！①

P60・61

- ① 1. to go 2. to see 3. playing 4. reading

【解説】 1・2. want, hope の目的語は不定詞(to ～)。3・4. enjoy, finish の目的語は動名詞(～ing)。

- ② 1. 私はその男の人と話したくありませんでした。
2. あなた(たち)はどこで野球をして楽しみましたか。

3. あなたは将来何になりたいですか(なりたと思っていますか)。
4. あなたは何時に勉強し終えたのですか。
5. 彼らはいつか金持ちになり、そして幸せになることを希望しています(なればよいと思っています)。
6. 私は今夜あなたと話して本当に楽しかった。

【解説】 5. some day(いつか, そのうち)は want to ～や hope to ～の文によく使われるので覚えておこう。

- ③ 1. When did you finish reading the book?
2. Do you want to stay at this hotel?
3. We enjoyed watching the game on TV.
4. I hope to be your help.

【解説】 1. finish の目的語は動名詞。2. want の目的語は不定詞。
3. enjoy の目的語は動名詞。4. hope の目的語は不定詞。

【まとめ】動名詞と不定詞②

スパリ 31 動詞によって動名詞・不定詞を使い分ける！②

P62・63

- ① 1. raining 2. swimming 3. to stay 4. to write

【解説】 1. stop の目的語は動名詞。2. 前置詞のあとには動名詞。
3. need の目的語は不定詞。4. 「(これから)～することを忘れる」の意味では, forget の目的語は不定詞。

- ② 1. 何時に雪は降りやみましたか。
2. 私たちはこの質問に答える必要があります。
3. いっしょにテニスをするのはどうですか(しませんか)。
4. 窓を全部(すべての窓)閉めるのを忘れてはいけません。

5. 私はチェスをするのがあまり得意(上手)ではありません。

6. あなたはきょう夕食を作る(料理する)必要はありません。

解説 3. How about ~ing? で「～するのはどうですか[～しませんか]」。 5. not very ~ (あまり～ない)の意味にも注意。

3 1. Why did you stop running?

2. You need to use this dictionary.

3. Thank you for coming to the party.

4. Are you good at writing letters?

知って得するコーナー

・ stop のあとに続く to ~ は副詞的用法の不定詞になり, stop は「立ち止まる」の意味になる。次の2文を比べてみよう。

I stopped talking with Ken. 〈stop + 動名詞〉

(私は健と話すのをやめました)

I stopped to talk with Ken. 〈to ~ は目的を表す副詞的用法〉

(私は健と話すために立ち止まりました)